

天文学とプラネタリウム

第38回



今月のお題

■天ブラの新プロジェクト、まもなく始動！

夢をカタチに、あすとりカルタ



「一家に1枚宇宙図2007」と一緒に、天ブラが企画・作成した『あすとりカルタ』文部科学省から科学技術週間に配布されました。



www.tenpla.net

高梨直紘（東大D3／天文学教育研究センター所属）

平松正顕（東大D3／国立天文台ALMA推進室所属）

一家に1枚、宇宙への窓を

それは、2004年の冬のことでした。山梨県立科学館へと延びる夜の山道を「あー、いー、」と怪しげな声を上げつつ登っていく2人。翌日から開催されるプラネタリウム関連の集会で天ブラの活動を紹介し、その中で発表する新企画『あすとりカルタ』の句をなんとかひねり出すとする、高梨と平松の姿でした。そして今私たちの前には、立派なカードに印刷された『あすとりカルタ』があります。「アイディアあって、出してみるもんだね。」これが率直な感想です。

宇宙図完成、そして…

そもそもこの『あすとりカルタ』は、天ブラの代表作であるアストロノミカル・トイレットペーパー（ATP）とともに、身近なところに最先端の天文学情報を置いて親しんでもらいたい、という意図で企画されたものです。カルタの句には、天文学の様々な分野の情報が凝縮されています。遊びながら自然に天文学情報が頭に残

る、というわけです。取り札表面はかわいらしいイラストで親しみやすく、しかし裏面は句に関する写真とともに詳しい解説を妥協なく盛り込みました。子どもから大人まで、天文初心者から天文学者まで(?)、様々な方に楽しんでもいただけるものに仕上げました。

日産科学振興財団の助成金を得て作成したこの『あすとりカルタ』、市販の名刺用紙サイズに合わせたpdf版を、天ブラのウェブサイトで配布中です。これでどなたでもご自宅で楽しんでいただけるわけです。しかし、名刺用紙とはいえさほど厚くない紙です。何度も遊ぶには、やはりしっかりしたカードに印刷したいなあ、と常々思ってきました。

朗報が舞い込んできたのは昨年末。天ブラも全面協力して作成が進んでいた『一家に1枚宇宙図』とともに、文部科学省が『あすとりカルタ』を印刷し科学技術週間に配布するということが決まったのです。そして出来上がったのは、立派なカードに印刷されたカルタでした。東京日本橋で開かれたサイエンスカフェやメガスタ



科学技術週間に配布された『あすとりカルタ』.pdf版は天ブラウェブサイトにて公開中です。

【科学技術週間】 <http://stw.mext.go.jp/>

一上映に参加された方、科学技術週間クイズに応募された方に、計数千部のカルタが配布されました。検索してみるといくつかのブログでも好評でした。「歯車がかみ合うってこういうことか。」3年前に描いた夢(妄想?)が、結実した瞬間でした。